

ホウライカガミ

学名 Parsonsia laevigata
 科名 キョウチクトウ
 別名
 区分 そうほんるい 草本類
 分布 きかいじまいなん なんせいしょうとう たいわん 喜界島以南の南西諸島、台湾、マレーシア、インド



葉の形 だえんけい こうだえんけい 楕円形、広楕円形
 葉の縁 ぜんぜん 全縁
 葉の先 どんけい おうけい 鈍形、凹形
 葉の種類 たんよう 単葉
 葉の付方 たいせい 対生
 葉の基部 えんけい ぜんせんけい 円形、漸尖形
 実の種類 そうか 果
 花・萼色 みどりいろ めだ いろ 緑色や目立たない色

解説

かいがんちか りんえん は せい ていぼく はんてい 海岸近くの林縁に生える、つる性の低木または半低木です。葉は厚く革質で楕円形、なが 6-8.5cm、幅 3-6.5 cmです。葉の裏の側脈が隆起して自立ちます。日本最大の蝶、オオゴマダラの幼虫の食草です。本種から毒を得ると言われています。